

令和元年度岡谷技術専門校運営協議会 主な意見

日時: 令和元年(2019年)7月2日(火) 午前10時30分から正午

項 目	学科・訓練科	構成員からの主な意見	校からの回答・校の考え方	
評価シートに関する事	応募・入校に関する事	ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科	・定員充足率が低いことは大きな課題。定員充足率向上のためにも、産業界、企業ニーズの把握が必要	・在職者訓練(スキルアップ講座)受講企業様への訪問調査を継続し、企業からの要望把握に努めてまいります。 また、今後県で企業へのアンケート調査を予定しており、その調査結果も参考にいたします。
			・(定員充足率の低迷は)景気動向の影響もあるのではないかと。今後就職難の状況になれば、受け皿も必要。	・景気動向と定員充足率の間には、ある程度の相関関係があると考えており、今後の経済状況の動向によっては、定員充足率にも影響すると思われます。
			・「強み」を活かしたPR、働きかけを。高校の生徒と進路担当の先生との意識の差を埋める必要もある。	・いただいたご意見も参考にさせていただき、より効果的なPR方法を探ってまいります。なお、県で技専校の愛称募集を予定しております。
			・今できることとして認知度アップの取組を。校名を変える、取得できる資格を増やすといったことも考えられる。	・新規学卒者だけでなく、若年離職者や大学中退者などに働きかけることも検討してまいります。
			・募集にあたり、どこにターゲットをおくのか検討すべき(新規学卒者、中途退職者、女性…)。需要があるところに情報発信を。	
	訓練に関する事	ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科	・カリキュラムに対する企業からの具体的な要望はどのように把握するのか。	・現在の訓練科に改編する際、管内企業様100社程度に訪問調査を行い、地域ニーズを取り入れて訓練内容の見直しをいたしました。今後も、さまざまな機会を捉え企業や地域のニーズを把握してまいります。
			・各科とも充実した訓練内容にはなっているが、訓練カリキュラムについては、一部改善が必要と思われる。企業のニーズは高校と技専校では違う。就職後のニーズが増してくるのではないかと。	・いただいたご意見も参考にしながら、訓練内容のさらなる充実を図ってまいります。
			・企業は最新設備の導入に努めている。予算を投入して、設備の更新、実際に現場で使われている設備を導入すべき。	・老朽化した設備の更新や訓練環境の改善が必要と考えております。県にも要望し、必要な予算の確保に努めてまいります。 また、市町村や企業からのご協力(設備の譲渡・寄付など)の可能性についても検討してまいります。
			・施設及び設備の老朽化が進んでおり、訓練環境も決して良いとはいえず、改善が必要。	
	就職に関する事	ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科	・就職率は高いが、修了生の就職状況や企業からの求人状況はどうなっているか。企業は、技術のある者はすぐにでも採用したいと考えている。	・訓練生の人数は少ないですが、中途退校者を含め、就職状況は好調です。製造業が多くなっていますが、地元の中小企業を中心に、求人も多くいただいています。引き続き、就職率が高い水準で維持できるよう取り組んでまいります。

項 目		学科・訓練科	構成員からの主な意見	校からの回答・校の考え方
参考指標に関する事	その他	ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科		
学びの場としての校のあり方に関する事			・OJTに代わるものとしての在職者向けの訓練の重要性が高まっている。	・スキルアップ講座受講企業様への訪問調査などを通してニーズの把握に努め、訓練内容の充実強化を図ってまいります。また、要望が多い講座については、追加講座の開催など、できる限り要望にお応えできるよう努めてまいります。
			・就職してからのスキルアップが大切。スキルアップの部分で企業とタイアップしていくことが必要。	
			・企業、学校、市町村との連携を真剣に強化していく必要がある。	・今年度は、地元の大学教授に講師をお引き受けいただいたスキルアップ講座を開催しました。引き続き、地域の教育機関等との連携を検討するとともに、運営協議会の開催等を通して市町村等関係機関の皆様のご意見等もお伺いしてまいります。
			・閉校となる職業訓練施設もある中、岡谷技専への地域の期待は大きい。学びの場として(技専校という)選択肢があることは重要。	・新規学卒者、離転職者、Iターンや移住者など、様々な方が製造業等への就職を希望された際、知識・技能を学ぶ場として当校での訓練も選択肢の一つとして考えていただけるよう、関係機関と協力しながら周知等に努めてまいります。
			・求職者が減少傾向にあるが、転職を繰り返すなど就職に苦労している方に職業訓練を利用してもらいたい。また、製造業等への就職を考えているIターンした者や移住者向けに学びの機会があることを発信できるのではないか。	
その他運営に関する事			・企業経営者の声を直接聴く場も設けるべき。	・今後県で予定している企業へのアンケート調査も参考にいたします。また、必要に応じ、企業訪問を行うなどしてニーズの把握に努めてまいります。
			・施設や設備の老朽化についてどうしていくのか長期的な計画が必要。	・県と協議しながら必要な予算の確保に努め、施設・設備の整備、訓練環境の改善を図ってまいります。
			・空きスペースが多いので、他の団体に入居してもらうなど、有効利用を図れないか。	・使用頻度の低いスペースについては、貸会議室としての利用など、有効活用ができないか検討を進めてまいります。
			・地元の企業による校の「応援団」を組織してはどうか。	・先行している他校の例も参考に、地元企業の応援団的なものが組織できるか研究してまいります。
			・女性向けの訓練、女性に向けての情報発信を検討してみてもどうか。	・現状女性訓練生の割合は数%にとどまっていますが、訓練を受講した女性の方も製造業等への就職に結び付いています。女性に向けての周知も強化していきたいと考えます。